取扱説明書

DAYTONA CORP.

R 66461①/⑦

*取り付ける前に必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

OUT☆EX MOTOR GAME SP ダウンマフラー	適応車種	商品NO.
	APE100（～'07）	66461

この度はデイトナ「OUTEX ＳＰダウンマフラー」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、取付前に必ず商品の内容をお確かめください。
万一お気づきの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。

■ご使用前に必ずご確認ください■

本書では正しい取付、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。
取扱説明書内の指示や注意事項を守らずに使用した事による事故や損害については、当社は一切の責任を負いません。

⚠警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。

⚠注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

⚠警告

禁止

- 締め切ったガレージ内部や通気の悪い場所で長時間エンジンをかけないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。排気ガスには有害な成分が含まれています。駐停車中、車両の後ろに人（特に幼児やペット）が居るにも関わらずエンジンをかけ続けると、一酸化炭素中毒等により死亡又は重度の後遺障害になる恐れがあります。また、締め切った倉庫や車庫の中では運転者および同乗者も含め同様の危険が発生する事があります。駐停車の際は、必ずエンジンを停車してください。
- ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は一切の火気をさけてください。また、蒸発（気化）したガソリンは爆発の危険もあるので、通気の良い場所で作業を行ってください。また、引火性のあるワックス、クリーナー類、塗料などのケミカル製品をマフラー等に垂らしたり吹き付けたりすると火傷をしたり、車体の損傷や火災の危険もあるので絶対に避けてください。
- この商品に曲げ、切削、溶接等の追加工を行いますと、重大な事故の原因となりますので絶対に追加工はしないでください。商品の本来の性能が発揮できないだけでなく、騒音等が大きくなり道路運送車輌法の保安基準を超える事があります。これによってＪＭＣＡ（全国二輪車用品連合会）認定パーツの対象外となるだけでなく、当社保証の対象外にもなりますのでご注意ください。
- この商品は、記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。

実施

- 作業は、車両を安定して支えられるスタンド等を用意して安全を確保したうえで行ってください。
- このマフラーは、純正ブレーキペダルとエキゾーストパイプが非常に近くなっておりますので、履物の種類や乗車時には十分注意してください。
- 商品を取り付ける際、使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷がみられた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのままご使用になられますと、重大な事故につながる恐れがあります。

2008／05／29

・ 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

その他

・ オートバイのエンジンやマフラーは始動させると高温となります。枯れ草など燃えやすいものの上でエンジンを始動させたり、エンジン停止直後に停車や駐車をしますと火災発生の原因となります。オートバイ付近に燃えやすいものがないことを必ず確認してから駐車および停車をしてください。

・ エンジンを始動しているとき、あるいはエンジンを停止させた直後は、マフラーが高温となっています。オートバイのマフラーは特に露出して触れやすいため、十分注意してください。また、オートバイを停車および駐車するときは歩行者など、近くの人や物に触れにくいようにしてください。

⚠注意

・ この商品の取り付けには、別途メーカー純正のサービスマニュアルをご用意していただき、確実な作業を行ってください。また、この取扱説明書やメーカー純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。適切な工具の準備が不十分であったり、または取り付け経験が無かったりする場合は、技術や経験を有したショップへ作業を依頼されることをお勧めいたします。

・ 作業を行う際は、必ずエンジンやマフラーが冷えている状態で行ってください。熱い状態で作業を行うと、火傷を負う原因となります。

実施

・ この商品を装着した場合、ダブついたズボンやウエア等を着用していますと、走行中もしくは停車中など、右足でオートバイを支える際にマフラーに接触して火傷することがあります。ダブついたズボンやウエア等で乗車する場合には、必ずマジックテープなどでダブつきを押さえ、マフラーに接触しないようにしてください。また、サンダル等、肌を露出した状態でも火傷することがありますから、ライディングブーツなど、安全で運転に適した装備で乗車してください。

・ 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意してから作業を行ってください。不適切な工具で作業を行うと部品を破損したり、ケガをしたりする可能性があります。

・ ボルト・ナット類の締め付けはトルクレンチを使用して、必ずそれぞれのサイズに合った規定の締め付けトルクで締め付けてください。

・ 取り付け後約１００ｋm走行しましたら各部を点検し、ネジの増し締め確認をおこなってください。その後は約５００ｋm毎に必ず点検を行ってください。

・ 部品や車両には、エッジや突起がある場合があります。作業は手を保護して行ってください。

禁止

・ ライディングマナーを守り、急加速、急発進、空ぶかしはしないでください。又、早朝や深夜等も静かな走行を心掛けてください。

法令違反

・ 一般公道では、道路交通法に則した制限速度に準じた運行を行ってください。一般公道を制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法（速度超過）によって罰せられます。

・ 排気関係の部品は錆びてボルトやナットが緩みにくいことがあります。無理に緩めようとするとボルトが折れるなど損傷の原因となりますので、緩みにくい場合はスプレー式の浸透性潤滑油等を使用し、適正な工具で無理のないように作業を行ってください。

・ この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

その他

・ ＪＭＣＡ(全国二輪車用品連合会)のカードは再発行できませんので紛失しないように大切に保管してください。

・ 補修部品をお求めの際などに必要になりますので、この取扱説明書は大切に保管してください。

・ この商品を取り付けるとオートバイの性能が変化します。特に交換直後など慣れるまでは十分に注意して操作し、オートバイの感覚を確かめてください。

・ この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をする場合があります。また、本文中に紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

□　装着についての注意事項　□

実施

- この商品にはエキゾーストガスケットが付属されておりません。
  装着する際には、エキゾーストガスケット(純正品)を新品に交換してください。
  ◎ HONDA純正エキゾーストパイプガスケット　品番：１８２９１－ＫＺ１－６７０
- このマフラーのみを装着した場合(純正エンジン、純正キャブレター、純正エアークリーナー)にはキャブレターのセッティングは必要ありません。ただし車両のバラつき、またはエアクリーナーの交換を行った場合には、キャブレターのセッティングが必要になる場合があります。
- このマフラーはノーマル車両およびそれに準じた状態での取り付けを確認しておりますが、他社製の後付けのグラブバー、およびバックステップ等と接触するなどして同時装着ができない場合があります。

禁止

- この商品は純正エンジン、純正キャブにてＪＭＣＡ(全国二輪車用品連合会)の認定を受けております。エンジンをチューニング等をした車両については、JMCA 認定の対象外となり、公道での使用ができませんので、十分にご注意願います。

その他

- ＪＭＣＡ認定マフラーは騒音、排気ガス試験を行って独自の規制値をクリアーしているマフラーにのみ認定されます。改造、経年変化等でこの規制値を超えた場合はＪＭＣＡ認定マフラーでも処罰されますので異常を感じた場合は必ずお近くの販売店、または当社にご相談ください。
- この商品を取り付ける場合、純正右側タンデステップの取り外しが必要になります。そのため２人乗りすることができなくなります。
- マフラー装着後エンジンをかけると、しばらくはウールが焼けて煙が出る場合がありますが異常ではありません。また、走行中スロットルオフの際にアフターファイヤーを起こす場合がありますが、これも異常ではありません。予めご了承ください。
- 走行を重ねていきますと、マフラーが(主にエキゾーストパイプ)が熱によって変色することがありますが、これは異常ではありません。
- ご本人以外が取り付けを行う場合、取り付けをされる方（販売店も含む）は、取り付け完了後各部の緩み、不具合等点検後、正常な作動の確認と危険箇所（バリ、突起物）無きことを確認のうえ、注意事項を説明しこの説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- レース等、競技目的の使用は自己責任にて、保証の対象外であることをご了承のうえ使用してください。

□　マフラー環境性能　□

騒音性能（試験成績）

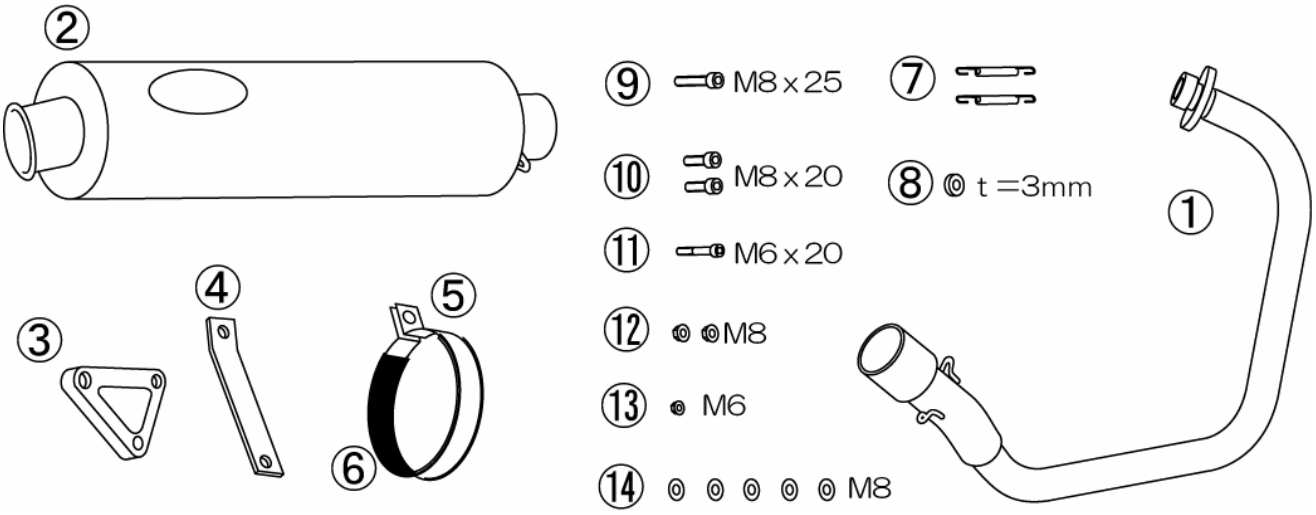
項目	結果
近接排気騒音	85　dB(A)
近接排気騒音※（仮定）	88　dB(A)
（測定回転数）	4,000±100rpm
ＪＭＣＡ認定番号	00210415

※仮定使用状況近接排気騒音試験と言い、ＪＭＣＡ認定試験にて実施されています。グラスウール等の消音材を使用しているサイレンサー部分を１分間水没させ、その後試験車両に装着・測定回転域内（4,000 回転以下）で水切り暖気運転（無負荷状態）を５分以内で行い、その後に近接排気騒音測定を実施しています。５分以内の暖気運転ではサイレンサー内部の水分除去は不可能で、水を吸ったグラスウール等の消音材の吸音効果は薄れますので、グラスウール等の消音材を使用しているサイレンサーには非常に条件の厳しい試験内容となっています。

□　本商品の特徴　□

- ＯＵＴＥＸとの共同開発による、フルエキゾーストダウンマフラー。
- 大容量サイレンサーを採用し、高い排気効率と静音性を両立したマフラーです。

□　商品内容　□



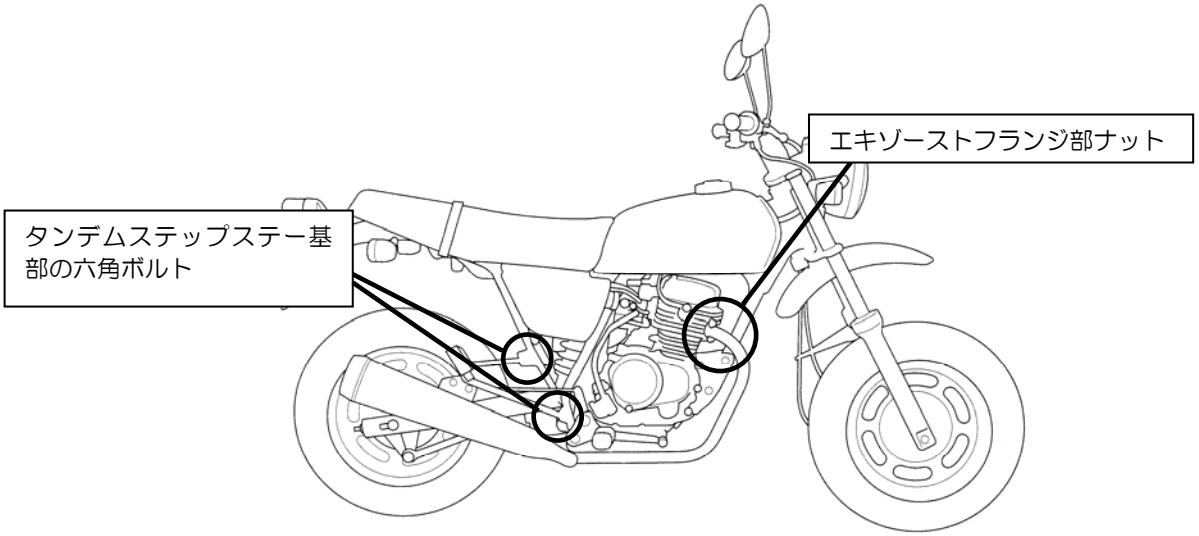
NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	エキゾーストパイプ		1	⑨	六角穴付ボルト	M8×25	1
②	サイレンサー		1	⑩	六角穴付ボルト	M8×20	2
③	マフラーステー1		1	⑪	六角穴付ボルト	M6×20	1
④	マフラーステー2		1	⑫	六角ナット	M8	2
⑤	サイレンサーバンド		1	⑬	六角ナット	M6	1
⑥	バンドラバー		1	⑭	平ワッシャ	M8	5
⑦	スプリング		2	⑮	JMCA プレートカード	#00210415	1
⑧	スペーサー	厚さ 3mm	1				

□　取付方法　□

取り付け前に、商品の内容をご確認ください。
エンジンおよびマフラーが冷えていることを確認して作業を開始してください。
詳細についてはメーカー純正サービスマニュアルを用意し、参照のうえ作業を行ってください。

1. 純正マフラーの取り外し

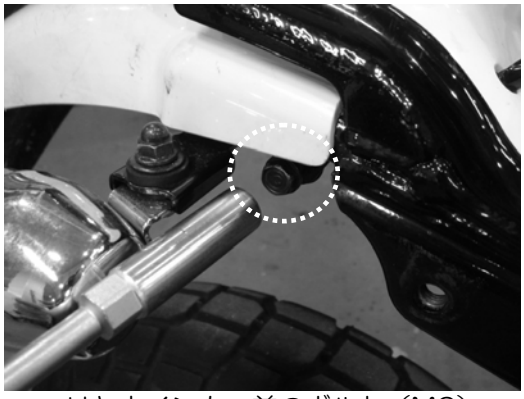
1-1.　エキゾーストフランジ部の純正ナット(M6/2 ヶ)を外します。
1-2.　フレーム右側、タンデムステップステー基部の六角ボルト(M8/2本)を外し、純正マフラーを車体から外します。



2. SP ダウンマフラーの取り付け

2-1.　シートを取り外します。

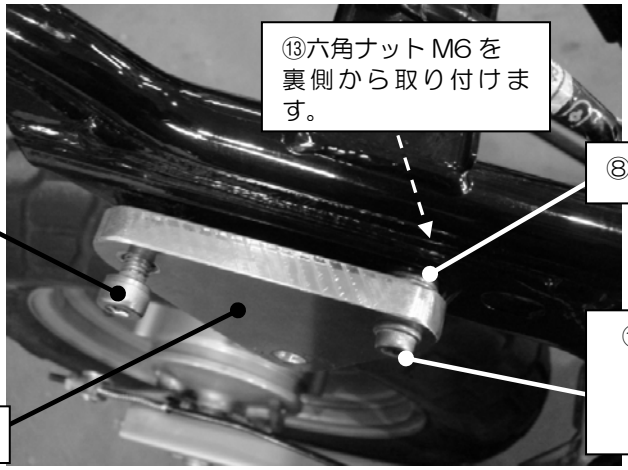
2-2.　リヤウインカー前のボルトとフェンダー上側のボルトを外し、リヤフェンダーを取り外します。

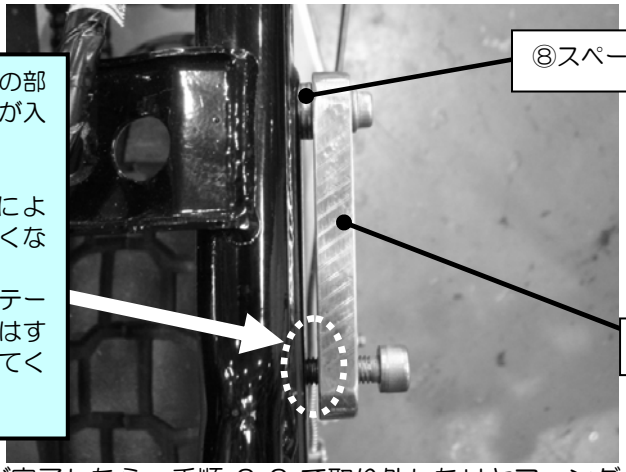


リヤウインカー前のボルト（M6）

フェンダー上面のボルト（M6）

2-3.　③マフラーステー１を、下図のように取り付けます。⑩六角穴付ボルトM8×20 は、シートを取り付けボルトの位置に写真のように仮組みします。その前方の穴には、フレームとの間に⑧スペーサーをはさんで⑪六角穴付ボルトM6×20を使用し、裏側に⑬六角ナットM6を使用して取り付けます。





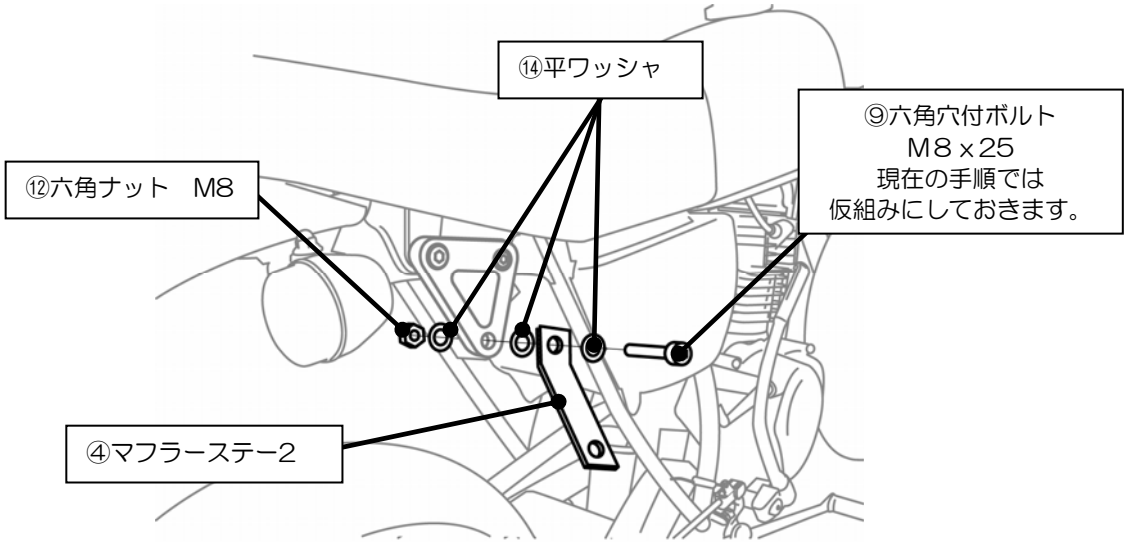
2-4.　シートの仮組み確認が完了したら、手順 2-2 で取り外したリヤフェンダーを元どおりに取り付けます。テールランプやウインカーの配線も元どおりに接続されているか確認してください。

2-5.　シートを取り付けます。右側のシート取り付けボルトは、商品の⑪六角穴付ボルト M8x20 を使用します。
［⑪六角穴付ボルト M8x20 の締め付けトルク：20N・m］

純正以外のシートで、固定方法が純正とは異なる（③マフラーステー１とフレームの間に、シートステーが入らないタイプ）場合には⑧スペーサーを使用せず、③マフラーステー１をフレームに直接取り付けてください。

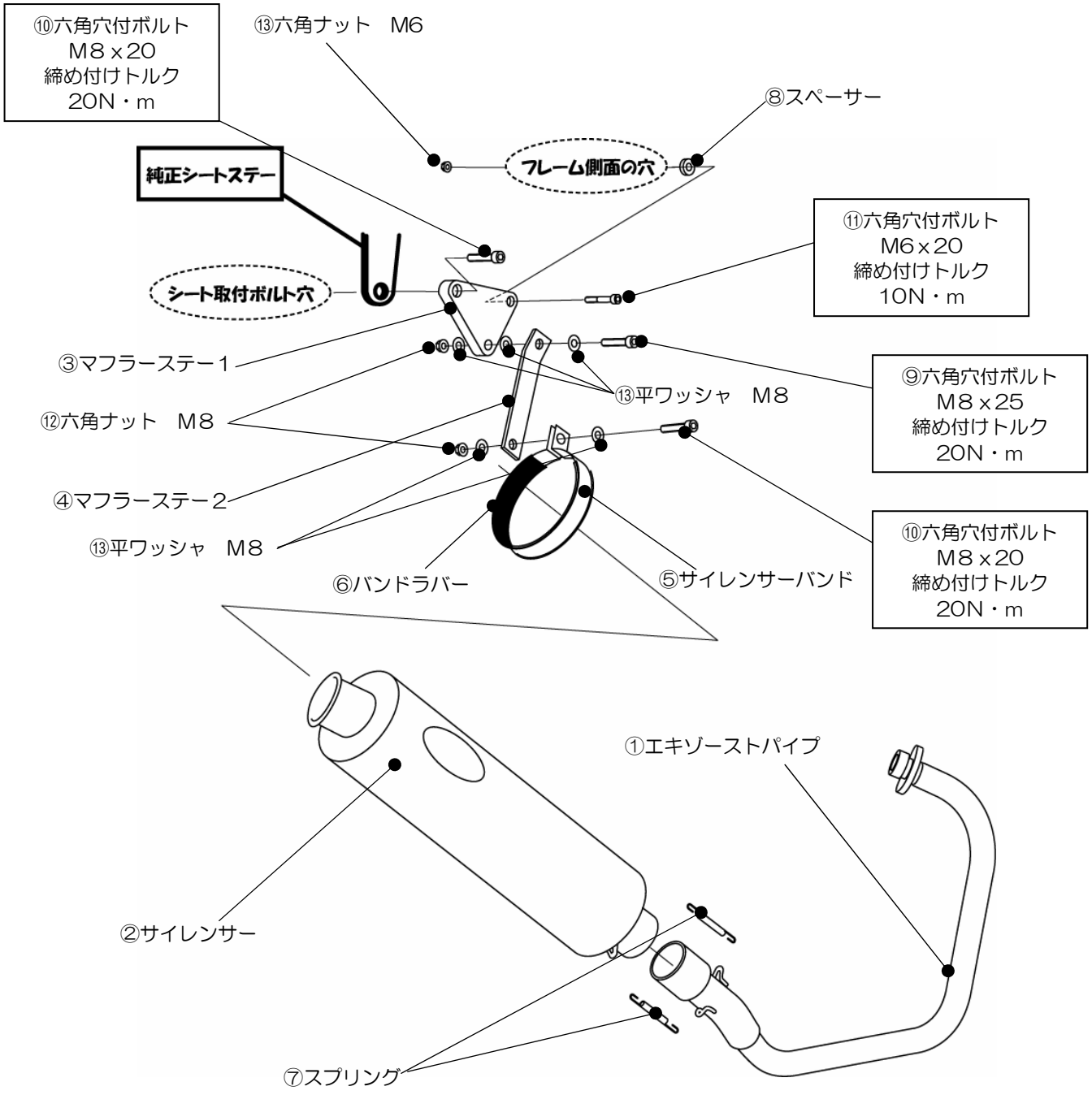
③サイレンサーステーの固定位置と同じ場所を使用する後付けのグラブバーを同時に装着する場合、グラブバーの形状や寸法によっては同時装着できない場合や、取り付けのために加工を必要とする場合があります。ご了承ください。

2-6.　手順 2-3 で取り付けたマフラーステーに、④マフラーステー２を仮組みします。



2-7.　エキゾーストガスケットを新品に交換します。（キットには付属していません）
※ HONDA純正品番 ： １８２９１－ＫＺ１－６７０
2-8.　①エキゾーストパイプをシリンダーヘッドに仮組みします。
2-9.　②サイレンサーを①エキゾーストパイプに差し込み、⑦スプリングを取り付けます。
2-10. ②サイレンサーに、⑥バンドラバーと⑤サイレンサーバンドを巻きつけ、⑩六角穴付ボルト(M8×20)、⑭平ワッシャー(M8/２枚)、⑫六角ナット(M8)を使用し、手順2-６で組んだステーに取り付けます。
2-11. 各部に無理な力がかからないように注意して、仮組みした各ボルト、ナットを規定トルクにて増し締めします。
2-12. エンジンを始動し、シリンダーヘッドとエキゾーストパイプ取付部から排気漏れの無いことを確認して作業は完了です。

□　組み立て図　□



株式会社 デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona-mc.jp　　E-mail: info@daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで